

**平成 28 年度酒田市大学まちづくり地域政策形成事業**  
**地域防災講演会 報告書**

**【 担当教員 】**

吉村昇 （東北公益文科大学 学長）

**【 目的 】**

2011 年 3 月に発生した東日本大震災を契機に、山形県でも津波想定の見直しや日本海での地震予測が実施されている。酒田市は日本海に面しており、大地震などによる災害に対して、市民が広く知識を共有し、常に具体的な対策を想定しておくことが、行政が定める計画等を実効性あるものにするうえでも重要である。

秋田県では、1983（昭和 58）年の「日本海中部地震」を受けて、様々な地震対策や津波防災対策が進められてきた。幸い、1993（平成 5）年の「北海道南西沖地震」後同規模の地震は起きていないものの、日本海では大地震の際に太平洋側以上に津波被害の可能性が高いことなどは、市民はもちろん、港湾地域の工業団地に進出している企業の関係者などにも、広く知られているとは言い難い。

そのため、秋田大学で長年日本海における地震予測等について取り組んでいる専門家である松富英夫氏と鎌滝孝信氏を招いて、行政職員や企業関係者、一般市民を対象にシンポジウムを開催し、その結果を報告書にまとめることで、災害対策（主に地震と津波）に関する取り組みの強化と防災知識の周知の機会を提供した。

**【成果】**

1. 危機管理に従事する行政担当職員や企業の担当者に対し、より専門的で具体的なデータを提供し、今後の防災対策の質の向上に寄与できた。
2. 市民に地震予測や災害対策に関する情報を提供することで、危機意識を持ってもらうこと、身近なこととして防災対策を考えるよう促すことができた。

**【添付資料】**

1. 開催案内状
2. 来場者アンケート集計結果

## 地域防災講演会 来場者アンケート集計結果

東北公益文科大学 研究支援室

### ■ 参加者数およびアンケート回収率

来場者 約 100 名 回収枚数 54 枚

#### I 今回の講演会を何で知りましたか？（複数回答可）

- 1 市の広報誌 …… 16
- 2 コミュニティ新聞・鶴岡タイムス等広報誌… 8
- 3 大学ホームページや Facebook …… 3
- 4 チラシ… 22
- 5 その他… 11

#### <その他>

知人の紹介、職場内連絡、職場のお知らせ、大学からの案内、東平田地区自治会長より

市役所挨拶時、自治会からの回覧、コミ振

#### II 開催の時期について

- 1 良い …… 30 名
- 2 なんともいえない …… 19 名
- 3 悪い …… 5 名

#### <希望の月・曜日・時間帯など>

- 年度末が忙しいのもっと早い時期だとありがたいです。
- 週末日中
- いつでも良い
- 寒い時期が大変である
- 秋・平日・午前
- 秋 2月は吹雪になる可能性がある。

### Ⅲ 今回の講演会の内容について

- 1 大変良かった … 11名
- 2 良かった …31名
- 3 普通 …10名
- 4 あまり良くなかった … 1名  
無回答 … 1名

#### <良かった点>

- 生活に近い情報を多用していた点が良かった
- 新しい知識を得ることができた。塞き上げ、密度の上昇など
- 人次第と知るということがポイントだということに聴講のよさを感じた。
- 地震津波の基本的事項について詳しく説明されたこと。

#### <悪かった点、改善点等>

- アカデミックでしたので、身近に（自分に）置き換えてイメージすることが難しかった。
- テーマをもう少ししぼって具体的に何に取り組むべきかを示していただきたかった（防災体制、防災まちづくり、地域での共助体制の構築など）身の丈にあった整備、人の対応次第ではよくわからない。
- 防災の話が中心ではなかった。
- 地震のメカニズムより防災面に時間を取ってもらいたかった。
- 日本海における津波の大きさの最大を「計画ありがとうございました」おはなしで納得です。
- 津波堆積物の説明お話が興味深かったです。防災マップのチェック項目が具体的に分かりやすかったです。
- 大学の先生はいつも 90 分で授業（講義）をしているので 60 分で講演をお願いするのは無理がある。重要な内容が詳しく説明してもらえなくなる。（今回は氾濫流？）密度・火災・最上川の洪水
- 時間が短く表面的な内容であった。（学術的には良かった）地域での具体策の手がかり。
- 地域防災についての講演に期待しておりましたが、残念でした。研究者の為でなく、市民の為の講演にしてほしいと思う。

#### Ⅳ あなたの性別は？

- 1 女性 … 2名
- 2 男性 … 52名

#### Ⅴ あなたの年齢は？

- |           |           |           |            |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 10代 … 1名  | 20代 … 0名  | 30代 … 1名  | 40代 … 5名   |
| 50代 … 12名 | 60代 … 23名 | 70代 … 12名 | 80代以上 … 0名 |

#### Ⅵ あなたのご職業について

- |                |                       |                |
|----------------|-----------------------|----------------|
| 1 会社員 … 2名     | 2 自治体・コミュニティ振興会 … 18名 | 3 自<br>営業 … 3名 |
| 4 教育機関関係者 … 4名 | 5 市・県関係者 … 12名        | 6 学<br>生 … 0名  |
| 7 無職 … 9名      | 8 その他 … 6名            |                |

##### <その他>

施設職員・福祉法人・会社役員・公務員

#### Ⅶ その他、ご意見、ご感想などございましたらご記入ください。

- 山形県における津波堆積物に関する講演ができればありがたい
- 毎年開催して欲しい、学生も一緒に
- 地域防災というタイトルにそくして、津波が来た時への備えや対策に的をしばった実践的な内容を期待します。13-14世紀の地質への堆積が現在にどう活かされているのか理解できませんでした。専門家レベルでなく住民レベルの実用的な知識の普及をお願いいたします。
- 防災教育の重要性がよくわかりました。
- 時間がたりない。
- 市街地港湾部に避難塔の検討を。
- 今後の自治会防災活動の行動基準、訓練等の参考にしたい

- 両先生へ象潟地震古文書「庄内大變記」をお渡しできて、ありがとうございます。もし、お分かりでしたら①朝鮮半島への津波影響②打ちあがった「坂田表への鯨打ちあがり…」の想定地域について、別途ご教示を頂ければ幸いです。
- 避難所設置運営についての研修。
- 防災活動に女性の活用について（女性の立場での発言）の研修。
- 大学の先生の講師でなければ聴けない内容で大変よかった。
- 災害を風化させないためにも定期的に実施してほしい。
- 庄内東緑活断層による地震について、学者の見解を説明するための講演会を聞いてみたい。30年以内に発生する確率が高くなっているとの情報から。日本で「歪みが蓄積されている地域」の情報も併せて欲しい。
- 今を考える地域防災について、今後は我々の住んでいる酒田についてももう少しどうあれば良いのか皆で考えて行きたい。
- 庄内地方の地震津波のことについてもっと説明してもらいたかった。飛島の津波発生可能性についても聞かせてもらいたかった。
- お二人ともとてもおもしろいお話でした。もっともっと長く聞きたかったです。60分では短かったですね。
- 二人の講師が秋田の方だったので庄内のことが詳しくなかったのが残念でしたが、とてもわかりやすく防災の考え方も理解できました。
- 松富氏の講座は聞きづらかった。
- 避難施設の必要性があると思われます。庄内地区は海岸道の脇が住宅地・羽越線の脇の急峻な山崖がある為に対策が必要。他地区での避難タワーの実績の視察必要。酒田港湾就労者の避難対策
- パワーポイントの画像が二箇所あるがレーザー説明は一箇所左側なので少し見づらかった。（右側に着席）
- 「〇年ぐらいに」は災害についてを知る上で必要なこと。質問者は・・・？これがなければ対応が多すぎませんか？
- 近年東北地域内の他の地域と比べると庄内は大きな災害が少ないため、災害が起こった時のことを心配しつつも、いまいひとつリスクをイメージできていない気がする。そういう状況の中で、防災教育、地域防災をどのように進めていくかが課題だと思う。質疑応答の時間ですが当初15分の予定を30分に延長する必要はなかったのでは？終了時間はできるだけ守ったほうが良いと思います。結果的には15分で終わりましたが…
- 前の席から詰めて座ってもらうように指示してほしい。